

# 第18章 福島県文化財センター白河館

## 第1節 白河館の運営状況

### 1 利用者数

平成27年度の入館者は前年度の入館者（27,166人）とほぼ同数であった。団体利用は、前年度に比べ1,370名減少した。平成13年7月の開館からの延べ入館者数は、456,903人となった。

（平成28年3月31日現在）

	入館者数(人)	ホームページ・データベースアクセス件数(件)
4月	2,079	311,180
5月	3,555	33,777
6月	2,651	21,712
7月	2,937	4,345
8月	2,369	4,468
9月	3,059	3,697
10月	2,277	3,831
11月	1,679	3,630

12月	2,253	3,646
1月	1,173	3,242
2月	1,719	3,502
3月	1,476	8,158
計	27,227	405,188

### 2 入館者の内訳と傾向

1日平均来館者数 4月：83人 5月：132人  
 6月：106人 7月：101人  
 8月：79人 9月：118人  
 10月：84人 11月：67人  
 12月：98人 1月：49人  
 2月：75人 3月：55人

地域別利用状況 県内者 86%（うち白河市 41%）  
 県外者 14%

年齢層別利用状況 入館者全体のうち、児童生徒（高校生以下）が41%、団体入館者が33%を占める。

### 3 団体利用者の内訳と傾向

（単位 人）（平成28年3月31日現在）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
幼稚園・保育園	団体数		1	1			1		1					4
	入館者数		28	29			32		24					113
小学校	団体数	15	8	23	13		8	10			7	4	1	89
	入館者数	837	337	1,227	749		422	632			267	109	73	4,653
中学校	団体数	1	2			1	2							6
	入館者数	182	117			52	96							447
高等学校	団体数		1						1					2
	入館者数		30						18					48
養護学校	団体数						1							1
	入館者数						13							13
大学	団体数	1	1			1	1	1	1		1		1	8
	入館者数	72	35			41	9	16	9		23		10	215
幼小中高PTA （保護者のみ）	団体数													0
	入館者数													0
幼小中高PTA （保護者と児童生徒）	団体数		1	4	1		2	2						10
	入館者数		70	199	53		124	78						524
研究会	団体数			1	1		1							3
	入館者数			9	50		80							139
子ども会	団体数				2	1								3
	入館者数				147	57								204

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
公民館等	団体数			3	4	3	7	2	4					23
	入館者数			62	137	86	200	58	79					622
福祉施設・ デイケアサービス	団体数		3	4	2	3		7	2	2		1	1	25
	入館者数		51	78	46	55		126	33	30		9	12	440
資料館等	団体数		2					1						3
	入館者数		94					30						124
歴史研究団体	団体数					2							1	3
	入館者数					13							16	29
県・市町村・ 教委・審議会等	団体数					4	3	4	1	2				14
	入館者数					181	42	96	25	42				386
その他	団体数	2	7	2	4	2	4	7	7	1		1	3	40
	入館者数	34	167	47	59	23	335	116	125	73		20	32	1,031
計	団体数	19	26	38	27	17	30	34	17	5	8	6	7	234
	入館者数	1,125	929	1,651	1,241	508	1,353	1,152	313	145	290	138	143	8,988
総入館者に占める 団体入館者の割合%		54	26	62	42	21	44	51	19	6	25	8	10	33

#### 4 情報発信事業の利用者

文化財データベースアクセス件数358,403件

(平成28年3月31日現在)

(文化財データベース公開件数368,662件、文化財情報提供システム406件をインターネット上で公開し、白河館のイベント情報等もホームページで紹介している。)

#### 5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品約50,000箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理。

写真掲載・転載の申し込み37件、出土品借受の申し込み24件。収蔵庫保管品の館内閲覧22件。

#### 6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

区分	研修対象者	研修内容
基礎研修	教職員・市町村職員等	主に発掘調査技術の向上と整理技術の向上などをめざす。
専門研修	教職員・市町村職員等	考古資料を基に、深く細やかな指導を行うための知識や技術の習得と、総合的な歴史価値判断能力の習得などをめざす。
特別研修	教職員・市町村職員等	上記以外の研修(教職員を主な対象とする発掘調査研修、市町村職員等の要望に応じて随時実施する研修、無形の文化財に関する研修等)

#### (1) 平成27年度研修実施状況

(平成28年3月31日現在)

参加者：合計 482名

##### ・基礎研修

「文化財写真の保全とデジタル記録管理」	5月23日	参加者 15名
「土師器の編年と文字資料」	7月4日	参加者 25名
「教職員等発掘調査体験研修」	8月5日～7日	参加者 12名
「映像記録作成の方法と課題」	12月5日	参加者 13名
「遺跡と史料にみる慶長五年の白河」	2月20日	参加者112名

##### ・専門研修

「縄文時代の北緯40度」	9月26日	参加者 28名
「文化財保護指導者研修会」	10月22・23日	参加者139名
「文化財の保全と記録技術」	11月7日	参加者 16名
「縄文早・前期土器群とAMS年代測定」	1月23日	参加者 15名

##### <特別研修>

「文化財保全ワークショップ」	6月20日	参加者 11名
「会津盆地の弥生時代」	6月21日	参加者 42名
「古代の泉崎」	8月28日	参加者 9名
「考古学調査から見た平田村」	1月26日	参加者 26名
「県南地方の縄文文化について」	3月16日	参加者 19名

#### 7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室、別棟として体験学習館を設けている。また、野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の倉庫、製鉄炉、室町時代の館を復元展示している。

### (1) 常時体験型体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体で体験学習を希望する場合を対象とするものを用意している。内容は、火おこし、勾玉づくり、土器づくりなどである。

常時体験型体験活動状況 (平成28年3月31日現在)

	来館者数(人)	体験者数(人)	割合(%)
4月	2,079	2,680	129
5月	3,555	1,468	41
6月	2,651	2,711	102
7月	2,937	2,401	82
8月	2,369	1,590	67
9月	3,059	1,939	63
10月	2,277	1,925	85
11月	1,679	884	53
12月	2,253	309	14
1月	1,173	622	53
2月	1,719	647	38
3月	1,476	643	44
計	27,227	17,819	

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

### (2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり・布づくりなどの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集し、関連性・継続性のあるメニューを年間6回実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

#### ・まほろん森の塾

第1回「入塾式・昔を知る」	5月17日	参加者 7名
第2回「昔の技を学ぼう」	6月28日	参加者 8名
第3回「夏まつりに参加しよう」	7月26日	参加者 5名
第4回「まほろん探険」	9月 6日	参加者 7名
第5回「縄文時代の料理をつくる」	10月 4日	参加者 7名
第6回「石器づくり・修了式」	11月15日	参加者 8名

#### ・実技講座

「家族で土器づくり初級編①製作」	5月10日	参加者 14名
「家族で土器づくり初級編②野焼き」	6月14日	参加者 11名
「カラムシから布をつくろう①刈取り」	6月28日	参加者 14名
「カラムシから布をつくろう②糸づくり」	7月19日	参加者 13名
「親子で石器をつくろう」	8月 1日	参加者 10名

「古代の染色にちょうせん」	8月 8日	参加者 18名
「カラムシから布をつくろう③布づくり」	8月30日	参加者 14名
「家族で土笛をつくろう」	9月26日	参加者 19名
「茶碗づくり①製作」	10月18日	参加者 24名
「古代の印章をつくろう」	11月8日	参加者 11名
「茶碗づくり②絵付け」	11月22日	参加者 24名
「ミニチュア鏡をつくろう」	11月29日	参加者 14名
「家族で門松をつくろう」	12月20日	参加者 21名
「親子で土偶・土面をつくろう①製作」	1月24日	参加者 12名

「縄文土器づくり上級編①製作」	1月30日	参加者 12名
「縄文土器づくり上級編②文様づけ」	1月31日	参加者 11名
「親子でアクセサリをつくろう」	2月21日	参加者 13名
「親子で土偶・土面をつくろう②野焼き」	2月28日	参加者 7名
「縄文土器づくり上級編③野焼き」	2月28日	参加者 12名

### (3) まほろんイベント

「GWまほろんまつり」	5月2日～6日	参加者 1,832名
「まほろん夏まつり」	7月26日	参加者 551名
「まほろんを描こう」	9月19日～23日	参加者 97名
「まほろん秋まつり」	11月 3日	参加者 441名
「まほろん感謝デー」	12月 6日	参加者 1,312名
「まほろん双六大会」	1月17日	参加者 13名
「まほろん冬まつり」	2月14日	参加者 631名

### (4) 「おでかけまほろん」

文化財センター白河館の職員が、土器や体験学習器材を携えて、学校を訪問し、体験学習の支援をしたり、先生方と連携して授業を進めるプログラム。平成27年度は44校で実施。参加者数は延べ1,185名。

(平成27年度実績(実施日順)：須賀川市立大森小学校、二本松市立油井小学校、伊達市立小手小学校、福島市立蓬萊東小学校、泉崎村立泉崎第二小学校、磐梯町立磐梯第二小学校、南会津町立館岩小学校、葛尾村立葛尾小学校、伊達市立伊達小学校、浅川町立浅川小学校、川俣町立福田小学校、本宮市立糠沢小学校、本宮市立白岩小学校、会津坂下町立坂下南小学校、伊達市立白根小学校、本宮市立五百川小学校、北塩原村立裏磐梯小学校、郡山市立根木屋小学校、二本松市立杉田小学校、須賀川市立稲田小学校、小野町立夏井第一小学校、福島市立茂庭小学校、いわき市立湯本第二小学校、県立須賀川養護学校、二本松市立旭小学校、二本松市立新殿小学校、矢祭町立石井小学校、川俣町立川俣南小学校、二本松市立石井小学校、桑折町立伊達崎小学校、二本松市立原瀬小学校、昭和村立昭和小学校、喜多方市立駒形小学校、県立聾学校会津分校、伊達市立上保原小学校、伊達市立堰本小学校、柳津町立柳津小学校、須賀川市立白方小学校、県立須賀川養護学校医大分校、本宮市立和田小学校、県立平養護学校、伊達市立伊達東小学校、県立あぶくま養護学校、県

立盲学校

### (5) まほろん出前講座

公民館等生涯学習施設で実施される活動等を対象として、弓矢体験、勾玉づくりなどの体験学習を実施する。平成27年度は6か所で実施し、124名が参加した。

(平成27年度実績(実施日順)：須賀川市小塩江公民館、二本松市中央公民館、南会津町奥会津博物館、須賀川市中央公民館、桑折町中央公民館、小野町ふるさと文化の館)

### (6) まるごとまほろん

文化財センター白河館に収蔵する発掘資料を、各地の行事等で展示するとともに、火おこし、弓矢などの体験学習も実施するプログラム。平成27年度は7か所で実施し、1,830名が参加した。

(平成27年度実績：ふくしま海洋科学館、楽蔵(白河市)、那須甲子青少年自然の家、須賀川市教育委員会、磐梯青少年交流の家、大玉村あだたらふるさとホール、那須高原ビジターセンター)

### (7) 講座・講演会

館長の講演会、白河館の学芸員などが講師となる「まほろん文化財講座」を開催した。

#### ・館長講演会 シリーズ『世界史と考古学』

第1回「世界史の中の縄文文化—その人類史的な価値—」 5月17日 聴講者 32名

第2回「人間観と異文化理解の歩み」 7月18日 聴講者 28名

第3回「聖書と石斧」 9月12日 聴講者 38名

第4回「人間はサル仲間だって？」 11月15日 聴講者 26名

第5回「地下の物たちに過去を語らせよ—近代考古学の誕生—」 2月6日 聴講者 31名

#### ・文化財講演会

「出土文字から古代のふくしまを描く」 6月6日 聴講者 60名

「世界遺産“平泉”と奥州藤原氏」 7月25日 聴講者 74名

「古代末の福島と陣が峯城跡」 8月29日 聴講者 72名

「災害痕跡を掘る—発掘調査からわかる災害と復興—」 11月28日 聴講者 29名

「白川城と小峰城」 12月12日 聴講者 87名

「旧石器時代研究のいま—方法論の反省を踏まえて—」 1月9日 聴講者 68名

「縄文土器の地域性—浜通りの特性を中心に—」 3月5日 聴講者 52名

#### ・文化財に関するビデオ上映会

「被災地の伝統芸能—被災の現状と取り組み—」 10月17日 観覧者 32名

## 8 常設展事業

常設展示室では、収蔵遺物や復元品を、「見て、触れて、考え、学ぶ」というプロセスを通じて理解しやすい形で展示している。

常設展示では、次の各展示コーナーにより構成される。「話題の遺跡」、「みんなの研究ひろば」、「しらかわ歴史名場面」「ふくしまの宝物」については年間数回程度の展示替えを行っている。

- めぐみの森(導入部)
- 暮らしのうつりかわり
- 暮らしをささえた道具たち
- 遺跡を掘る
- 話題の遺跡(最新の話題になった遺跡の発掘調査成果等を紹介する)
- みんなの研究ひろば(体験学習などを通して得られた成果や、児童、生徒、一般研究家の研究成果等の発表の場として活用する。平成27年度は、被災地から救出された文化財の展示コーナーとしても活用した)
- ふくしまの文化財
- のぞいてみよう福島の遺産
- しらかわ歴史名場面(白河地方の文化財を集め、白河地方の歴史の一コマを展示する)
- クイズふくしま歴史発見

## 9 企画展事業

特別展示室では、指定文化財展・収蔵資料展などの企画展を開催している。

### (1) 企画展

- ・ふくしま復興展 I  
「古代の文字—出土文字資料から見たふくしま—」  
5月30日～7月5日 観覧者3,278名
- ・指定文化財展  
「奥州藤原氏の時代とふくしま—会津坂下町陣が峯城跡の謎—」 7月25日～9月27日 観覧者5,996名
- ・ふくしま復興展 II  
「よみがえる文化財—震災からの救出活動と再生への取り組み—」 10月17日～12月6日 観覧者4,219名
- ・収蔵資料展  
「縄文土器の年代—その古さを読み解く—」  
3月5日～5月8日 観覧者1,302名  
(平成27年度中入館者数)

### (2) 移動展

- ・収蔵資料展  
「磐越自動車道の遺跡—会津盆地の弥生時代—」  
福島県立図書館  
6月5日～7月1日

## 10 ボランティア運営事業

### (1) 「まほろんボランティア」の活動状況

- ・施設・展示の案内
- ・体験学習用器材の整備など
- ・ボランティア連絡会(3回開催)

### (2) 登録数

個人ボランティア 22名